

社団法人 ロシアNIS貿易会
財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 退職給付引当金は、職員の退職給付の支給に備えるため当期末自己都合等退職給付要支給額の70%相当額を計上している。また、平成23年度より退職給付会計を導入するが、導入に伴う会計基準変更差異の未処理総額(簡便法)は1億2千万円であり、平成23年度より10年に渡り各事業年度毎に定額法(各年12,000,000円)で費用処理する。

(2) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税に相当する額の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
運営強化財産	100,000,000	0	0	100,000,000
退職給付引当資産	7,000,000	20,500,000	7,000,000	20,500,000
小 計	107,000,000	20,500,000	7,000,000	120,500,000
合 計	157,000,000	20,500,000	7,000,000	170,500,000

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000		50,000,000	
小 計	50,000,000	0	50,000,000	0
特定資産				
運営強化財産	100,000,000		100,000,000	
退職給付引当資産	20,500,000			20,500,000
小 計	120,500,000	0	100,000,000	20,500,000
合 計	170,500,000	0	150,000,000	20,500,000

4. 担保に供している資産

基本財産50,000,000円は、短期借入金50,000,000円の担保に供している。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
複写機	3,773,700	1,123,292	2,650,408
パソコン	8,104,320	1,751,825	6,352,495
有形固定資産計	11,878,020	2,875,117	9,002,903

以 上